

平成21年2月19日

WG委員各位

(社)日本建設機械化協会北海道支部事務局

第1回企画部会情報化施工推進検討WGについて

1. 目的

国土交通省が推し進める情報化施工推進戦略に基づき北海道におけるPR及び情報化施工の道内における普及推進に寄与することを目的とする。

2. 当面の活動計画

当面2年程度を活動期間とし、次の活動を行う。

- ①支部内部での情報化施工に関する勉強会の実施
- ②外部向け講習会の実施
- ③試験工事等見学会の実施
- ④その他情報化施工普及のための活動

3. WGの構成について

(1)対象

北海道開発局及び支部事務局からなるWG事務局を構成し、各部会横断的に委員を構成する。

(2)委員構成

座長

副座長 糠谷 尚樹 北海道開発局 事業振興部 機械課 機械施工管理官

委員 曾根 康行 道路工業(株) 機材環境部 執行役員機材環境部長

〃 水越 博則 (株)田中組 土木部次長

〃 小松 望 コマツ北海道(株) 営業部販売推進課

〃 天野 哲雄 コベルコ建機東日本(株)北海道支店 札幌営業所長

〃 武田 正司 キャパテ北海道(株) 営業部販売促進課特定マーケット営業グループマネージャー

〃 菅野 清 日立建機(株)北海道支店 建設・産業システム営業グループ 営業課長

〃 松村 典明 鹿島建設(株)北海道支店 土木部機電グループ長

〃 木村 示郎 前田道路(株)北海道支店 工事所長

〃 弓削 富司夫 大成ロテック(株)北海道支店 技術部長

〃 木下 大也 (株)岩崎 企画調査部 課長代理

〃 阪 豊彦 伊藤組土建(株) 土木部土木課 課長

〃 沖野 俊広 岩田地崎建設(株) 技術管理部 部長

〃 竹田 完二 岩倉建設(株) 技術開発室 副室長

// 村田 武晴 (株)トプコン販売 札幌営業所 所長
 // 濱田 文子 (株)ニコン・トリンプル コンストラクション営業部マーケティンググループリーダー
 // 阿部 直也 サクマ光器株
 // 三浦 秀昭 北海産業(株) 取締役営業部長
 // 大澤 聡 ニシオレントオール北海道(株) 札幌東営業所 所長
 木下 国島 英樹 (独)土木研究所 寒地土木研究所寒地機械技術チーム 主任研究員
 事務局 竹内 清二 北海道開発局 事業振興部 機械課 調査係長
 谷崎 敏彦 // 札幌開発建設部 施設整備課 情報管理専門官
 鬼澤 正美 (社)日本建設機械化協会 北海道支部 事務局長

(計 23 名)

3. 第 1 回情報化施工推進検討 WG の開催について

日時：平成 21 年 3 月 5 日(木) 14:00~16:00 さっけんビル 6 階会議室(当支部入居ビル)
 札幌市中央区北 3 条西 2 丁目さっけんビル

議題 ①企画部会 情報化施工推進検討 WG 立上げの経緯に就いて
 ②国土交通省「情報化施工推進戦略」について
 ③CMI における技術者養成講習会について
 ④今後の予定について

4. 委員各位へのお願い

WG 出席に当たり事前に下記事項について社内での検討をよろしくお願いいたします。

記：仮に自社で情報化施工を導入する場合、課題もしくは懸案となる事項(建設機械の入手手段や 3D データの作成方法など)を予め考えてきてください。

5. 委員出欠の報告

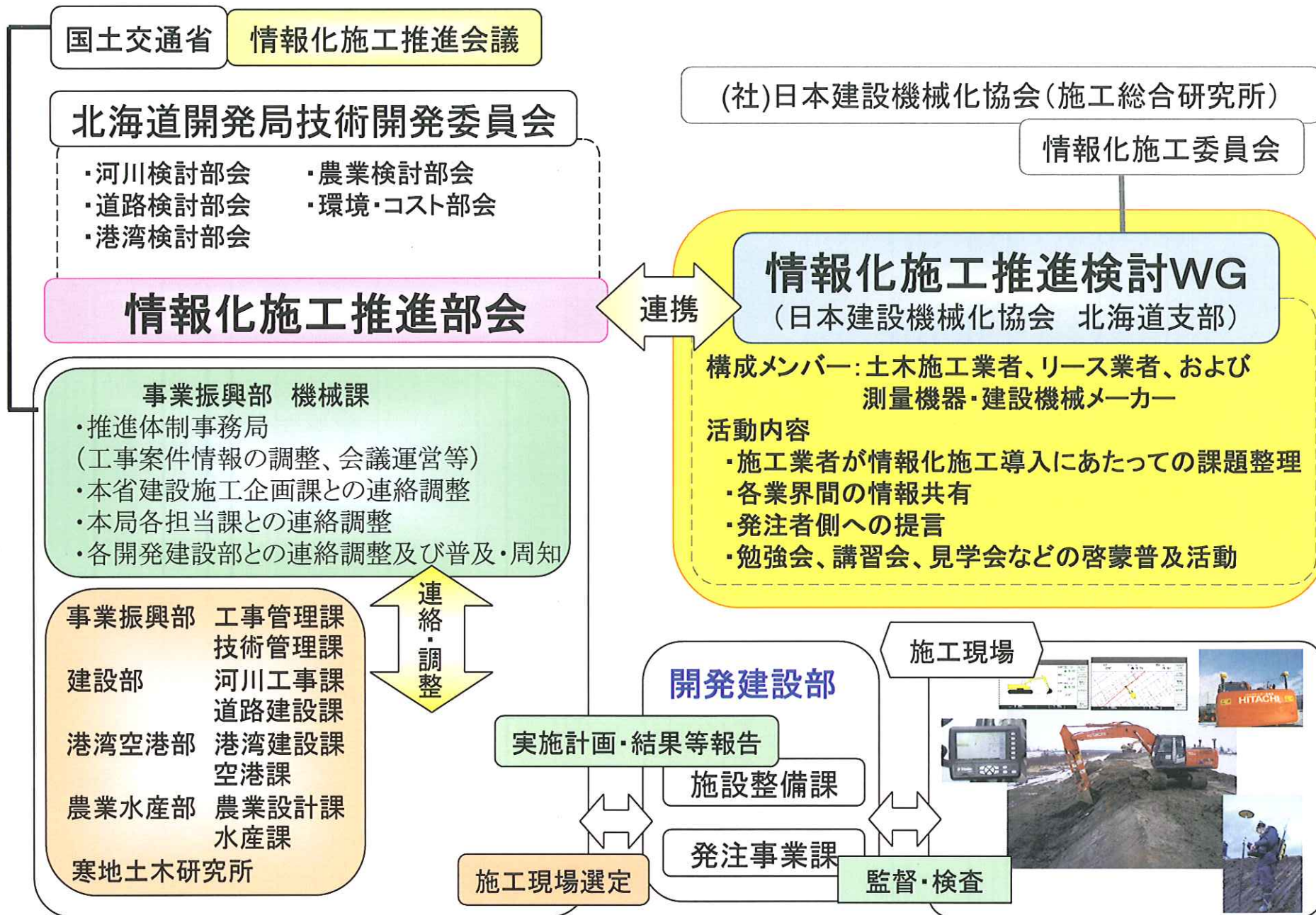
別紙により委員名及び出欠の報告をお願いします。

※ ご都合により委員が出席出来ない場合は極力代理出席願います。

報告締め切り日 : 平成 21 年 3 月 2 日(月)迄

TEL011-231-4428、FAX011-231-6630

北海道における情報化施工の検討及び普及促進の体制



「第3回 情報化施工推進検討WG」議事次第

日 時；平成21年10月8日（木）14:00～17:00

会 場；中央区北3西2 さつけんビル 6F 会議室

(社)日本建設機械化協会 入居ビル

1. 開会座長挨拶

岩田地崎建設(株) 沖野 技術管理部長

2. 全国及び北海道開発局の試験施工実施状況等について

北海道開発局 事業振興部 機械課

3. 札幌開発建設部における現場見学会実施結果、発注者指定型試験施工概要及び函館建設業協会への出前講座の事例紹介について

3-1 札幌開建現場見学会、発注者指定型試験施工概要（札幌開建 施設整備課）

3-2 函館建設業協会への出前講座（北海道開発局 事業振興部 機械課）

4. 情報化施工の取り組み事例紹介について

4-1 (株)砂子組

4-2 道路工業(株)

4-3 岩田地崎建設(株)

5. 全国及び道内における情報化施工機器の配備状況（予定含む）の動向及び情報化施工推進会議（建設機械WG）の最近の動向について

5-1 (株)トプコン販売

5-2 (株)ニコン・トリンブル

5-3 ライカジオシステムズ(株)

6. (株)岩崎における情報化施工体験実習の試みについて

7. 平成21年度 情報化施工推進検討WGの活動計画について

(社)日本建設機械化協会 北海道支部 事務局

8. 質疑応答

9. 閉会副座長挨拶

北海道開発局 事業振興部 機械課 糠谷 機械施工管理官

日本建設機械化協会道支部

第 3 回情報化施工推進検討WG開催
実事例で課題と効果検証
機器の精度向上が必要

も二十四年度までに標準的な施工・施工管理方法とする」という目標を掲げており、建設機械化協会では、情報化施工に対応できる技術者を育成する活動を展開している立場から支援。民間ベースでの横断的な検討を進めている。

道支部でも建設企業、機器メーカー、開発局、リース業者などで構成するWGを三月に設置し、普及に向けた活動を展開している。

（抄）日本建設機械化協会道支部（熊谷勝弘支部長）は八日、札幌市内のさつげんビルで第三回情報化施工推進検討ワーキンググループ

WG、座長・沖野俊広若田地崎建設技術管理部部长（左）を開催し写真。道内企業三社の事例紹介などを

通じ、課題や効果を検証した。課題としては、機器の精度や安定性が不十分との声が続出。効果としては施工性の向上や施工管理の容易さなどが挙がっていた。

情報化施工については、国土交通省が「大規模工事場見学会や講習会を行い、さら

なる普及の後押しをし、技術者を育成していきたい」などと述べた。

続いて、開発局機械課の竹内清二調査係長が全国および開発局の試験施工実施状況について説明。開発局では本年度二十三件の試験施工を予定していること、全国では昨年度三十九件が実施され、本年度は百二十五件が予定されていることなどを紹介した。

続いて、佛砂子組、道路工業（株）、岩田地崎建設（株）の三社が道内で実際に行った情報化施工について課題や効果などを紹介。

課題としては、「座標値入力など事前の準備に手間がかかる」「GPSのデータがずれ、何処もの誤差が生じる」「機器の付け替えが非常に困難」「電源を切るとときに電源を入れたと

「現場内に丁張が全くいらないうえ、作業に集中できない」「効率のよい施工が可能」「施工管理が容易」「安全に施工できる」「安全に施工できる」など施工性のよさがメリットとして挙げられ、特にオペレーターからは好評。また、人の目の届かない水中の工事には非常に有効であることが報告された。

この日はこのほか、機器メーカーによる状況報告もあり、「価格が高い」という指摘もあり、できるだけレンタルできる環境を整えていきたいといった声も出されていた。

なお、今回のWGは来年一月に開催し、国土交通省による講演や道内施工会社等の意見交換・事例発表などを行いたい考えだ。

